

令和3年度（2021年度）第6回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和3年（2021年）9月27日（月）14時40分～15時40分

場 所：CPDホール

出 席：学長	半藤 英明
副学長	堤 裕昭
事務局長	平井 宏英
文学部長	鈴木 元（リモート参加）
環境共生学部長	石橋 康弘（リモート参加）
総合管理学部長	澤田 道夫（リモート参加）
地域連携政策センター長	丸山 泰（リモート参加）
学術情報リサーチセンター長	北原 昭男（リモート参加）
国際教育交流センター長	レイヴィン リチャード（リモート参加）
文学研究科長	虹林 慶（リモート参加）
学校法人 九州ルーテル学院長	内村 公春
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎

欠 席：熊本県公立高等学校長会長 牛田 卓也

監 事：公認会計士 河喜多保典  
弁護士 本田 悟士

事務局：川元事務局次長、丸山総務課長、松永企画調整室長、三隅教務入試課長、尾方教務入試課教務班長

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 教員の採用について

事務局総務課から、資料1に基づき、教員の採用について採用予定者、採用科目、採用予定日及びこれまでの審査の経過等について説明があった。

続いて、関係学部長から次のとおり説明があった。

・文学部

文学部長から資料1-3に基づき、「日本語日本文学科の採用人事について、公募に対し10名の応募があり、文学部内で選考手続きを進め、今回の候補者のみを選定した。」との説明があった。

引き続き、全学資格審査委員会議長である学長から、資料1-2に基づき、「文学部日本語日本文学科の採用予定者については准教授での採用が適当である、と全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## (2) 報告事項

### ① 令和2年度業務実績について

事務局企画調整室から、資料2に基づき、「熊本県公立大学法人評価委員会の全体評価だが、第3期中期目標期間の3年目として1年を通じて新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けながらも、重点目標である「教育の質の向上」、「地域に貢献する教育研究の推進」及び「グローバル化の推進」の達成に向け、当評価委員会がこれまでに行ってきた各事業年度の業務実績評価などを踏まえ、着実な取組みがなされたことを評価されている。また、本学への課題としては、大学院入試について、新たな志願者確保への途を開きつつも、入学者数の改善には至っていないこと、海外留学・研修メニュー等の充実に取り組みなながらも、今後の海外留学・研修のあり方等にさらなる工夫や検討が求められることを課題として挙げられている。」との報告があった。

## 4 その他

次回日程 令和3年度(2021年度)第7回 10月11日(月)午前10時～  
CPDホール

## 5 閉会